

レジリエンス経営科学研究寄附講座

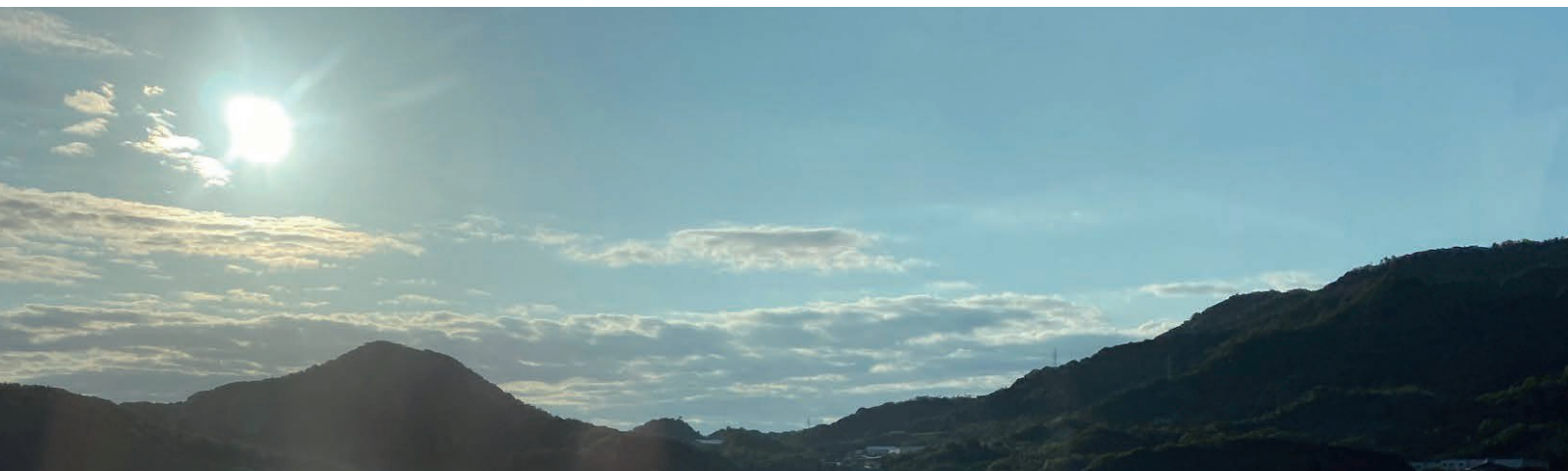


京都大学

設置期間 2023年10月1日～2026年9月30日

寄附者 株式会社 経営科学出版 ダイレクト出版 株式会社

「レジリエンスに関する文理融合研究」

 経営科学出版 DIRECT

教員

教授 山田 忠史
客員教授 鎌田 浩毅
客員教授 白水 靖郎
特命准教授 宮川 愛由

特定准教授 浜崎 洋介
客員教授 本田 悦朗
客員准教授 辻田 真佐憲

概要

各企業は今、パンデミックや地震・風水害等の自然災害、地政学的紛争リスク、世界同時不況等、各種のリスクに直面しています。それゆえ、各企業の事業継続を企図するうえで必要不可欠なのが、各企業に関わる諸組織、すなわち、個々の企業を中心として、その企業に関わる地域や業界、地方自治体や国家等のレジリエンス（resilience, 強靱性）です。レジリエンスの確保の重要性は、近年認識されつつあるものの、必ずしも各種リスクの発生下でも事業継続を可能とする共同性とその基盤、すなわち「レジリエンス」に対する理解とその実践が十分に展開されている状況にあるとはいえないでしょう。

本講座は、各種の危機に対応可能なレジリエンスに関する文理融合研究を推進すると同時に、その研究成果を踏まえた社会教育・啓発活動を実践的に展開します。それらを通して、レジリエンス概念に基づいた企業経営者の人材育成を図るとともに、レジリエントな企業経営に貢献する社会状況、世論状況、行政等の経営環境の創出が可能な人材の育成を図ることを目的とするものです。それゆえ本講座では、例えば、人々が何を危機と認識し如何に対応するのかについての実践的な人文社会科学研究、グローバル経済や自然災害などの各種の危機を想定した事業継続計画を高度化するための基礎的・実践的研究——人を動かし、一定の共同性・凝集性を作る上で不可欠な思想・文化・歴史、そして、そのレジリエンスを高めていく上で必要となる人文・社会科学・社会工学分野での探求——を実施します。

レジリエンス経営科学研究寄附講座



京都大学

設置期間 2023年10月1日～2026年9月30日

寄附者 株式会社 経営科学出版 ダイレクト出版 株式会社

「レジリエンスに関する文理融合研究」

kkp 経営科学出版


 DIRECT

教員紹介



山田 忠史 教授

専門分野

ロジスティクス、交通計画

Message

貨物輸送、サプライチェーンマネジメント、マルチモーダル交通、観光などを対象に、交通渋滞・交通事故・環境負荷などの社会問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは、理論的解析を通じて、交通サービスのあり方や交通ネットワークの設計について考究します。



鎌田 浩毅 客員教授

専門分野

地球科学、火山学、地質学、科学コミュニケーション

Message

私が専門とする地球科学では近い将来に南海トラフ巨大地震・富士山噴火・首都直下地震が発生し、今後数十年間は地震・噴火が止まないと予測している。2030年代には南海トラフ巨大地震が予想され全人口の半数6800万人が被災する。東日本大震災の10倍の被害をもたらす「西日本大震災」であり、その前後には東日本大震災の5倍の被害をもたらす首都直下地震が、また富士山噴火が誘発される可能性もある。いずれも日本の根幹を揺るがす激甚災害で喫緊の対策が必要である。さらに昨今は地球温暖化により気象災害が激化しているが、巨大噴火のもたらす地球寒冷化が脱炭素政策に変更を迫る可能性がある。最先端の地球科学が示す災害予測と減災対策を提言し、環境負荷などの社会問題を考慮しながらレジリエンス経営科学の観点から考究する。



白水 靖郎 客員教授

専門分野

国土・交通計画、まちづくり、地域経営

Message

自然災害をはじめとする各種リスクに対応し、持続的に成長する強靱（レジリエント）な国土・地域づくり／経営について、実践的な研究を通じて貢献したいと考えています。



浜崎 洋介 特定准教授

専門分野

日本近代文学、批評理論、近代保守思想

Message

魚は水という条件があってはじめて「自由」に泳げるように、「自由」にはその条件があります。では、日本人の「自由」の条件とは何なのか。それを思想、文学（精神史）、歴史のなかで考えるのが私の仕事です。日々行っている文芸批評の研究・活動も、その延長線上での実践であることをご理解いただければ幸いです。



本田 悦朗 客員教授

専門分野

財政学、金融論、国際金融論、公共政策

Message

市場経済は安定化機能を内在しているが、均衡から逸脱した状態が長期化すると人々の予想が変化し、本来、需要不足による循環的な問題であるにもかかわらず、構造的な問題に転化する。悪化した予想の下では、それを放置すれば需要減少が悪循環を招く。デフレは資本主義にとって死に至る病であるが、根本原因は経済構造ではなく需要不足にある。「アベノミクス」は、日本経済を悪循環から脱出させるために必要不可欠の手段であった。現在、着実にその効果が実現しつつある。



辻田 真佐憲 客員准教授

Message

主に歴史の分野で著述業をしています。昨今、歴史は政治的に利用されやすいですが、私はジャーナリズム側の人間として、どのように歴史と社会をよりよく結びつけるかに強い関心があります。



宮川 愛由 特命准教授

専門分野

公共政策論、都市計画、交通計画

Message

国土のレジリエンス確保に不可欠なインフラ整備をはじめとする公共政策の計画、推進に向けた社会的合意形成論や手法に関心があります。現在は学童期からの公共政策に対する関心、理解の醸成を企図し、社会基盤・公共財を題材とした初等中等教育における学習教材の開発・研究に取り組んでいます。